

# 与謝野町

## 1 地域の現状分析

### 1.1 背景

#### ➤ 統計

指標	与謝野町	京都府	
総人口 (R3 住民基本台帳人口)	21,040 人	2,530,609 人	
日本人人口 (R3 住民基本台帳人口)	20,939 人	2,469,600 人	
出生率 (R3 人口動態調査)	3.9‰	6.4‰	
合計特殊出生率 (H25～29 年ベイズ推計値)	1.73	1.32	
高齢化率 (65 歳以上の者の割合)	36.8%	29.2%	
前期高齢者割合 (65～74 歳の者の割合)	16.6%	14.0%	
後期高齢者割合 (75 歳以上の者の割合)	20.2%	15.2%	
死亡率 (R3 人口動態調査)	14.0‰	11.5‰	
平均寿命 (0 歳時平均余命) [95%CI]	男性：80.8 年 [78.7, 83.0] 女性：88.5 年 [87.0, 90.1]	男性：82.2 年 [82.0, 82.4] 女性：88.2 年 [88.0, 88.3]	
健康寿命 (日常生活に制限のない期間の平均) [95%CI]	—	男性：72.7 年 [71.9, 73.5] 女性：73.7 年 [72.7, 74.7]	
平均自立期間 (要介護度 1 以下の期間の平均) [95%CI]	男性：79.1 年 [77.2, 81.1] 女性：84.6 年 [83.4, 85.9]	男性：80.3 年 [80.1, 80.5] 女性：84.2 年 [84.1, 84.4]	
医療保険加入者数 (R3 市町村国保+けんぽ)	11,870 人	1,181,285 人	
特定健診対象者数 (上記のうち 40～74 歳の加入者数)	7,979 人	740,898 人	
特定健診実施率 (R3 市町村国保+けんぽ)	54.2%	42.8%	
がん検診受診率 (R3 市区町村実施分)	肺がん	17.1%	3.0%
	大腸がん	17.7%	4.2%
	胃がん	13.4%	2.5%
	子宮頸がん	31.9%	11.0%
	乳がん	32.9%	11.5%

[出典]人口・高齢化率：令和 3 年住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査、年間出生数・死亡者数：令和 3 年人口動態調査、合計特殊出生率：人口動態統計特殊報告(平成 25～29 年人口動態保健所・市区町村別統計)、平均寿命・平均自立期間：国保データベース (KDB) システムによる算出値(令和 3 年値)、健康寿命：健康日本 21(第二次)の総合的評価と次期健康づくり運動に向けた研究(令和元～3 年度)都道府県別健康寿命(2010～2019 年)(令和 3 年度分担研究報告書の付表)、医療保険加入者・対象者数・特定健診実施率：京都府健診・医療・介護総合データベース(令和 3 年度値)、がん検診受診率：令和 3 年度地域保健・健康増進事業報告

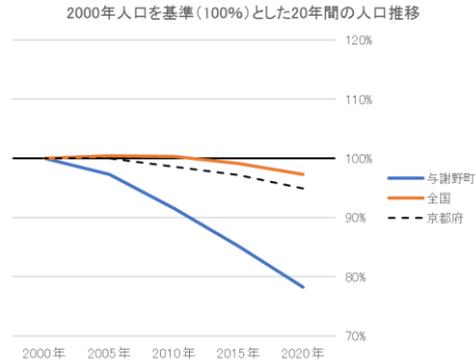
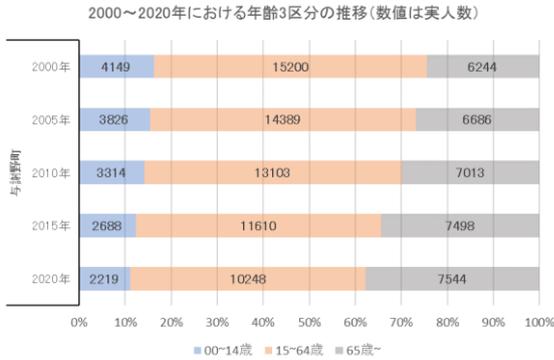
- ※ 協会けんぽの医療保険加入者数は、協会けんぽ京都支部加入者の内、郵便番号から居住市町村名が判明している者のみ集計した。また、資格取得・喪失状況を加味した上で月ごとの加入者数を 1 年分足し合わせた後に 12 で除した値(月平均)を利用した。
- ※ 特定健診実施率とは、特定健診対象者のうち、平成 30 年「特定健康診査・特定保健指導の実施状況の集計方法等について」別添 1 にある検査・測定項目を実施した受診者の割合のことである
- ※ 京都府の胃及び乳がん検診受診率は、京都市の 2 年連続受診者数を全国値より推計し京都市を含めて新たに算出した値である

## ➤ 経年推移

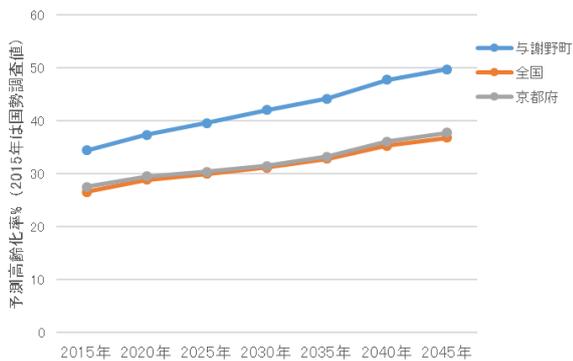
年齢3区分人口の2000年から2020年までの推移から、高齢人口（65歳～）は増加し、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）は共に減少している。

2000年から2020年までの20年間の人口推移では、減少率は20%を超えている。

予想高齢化率は、年間1%程度上昇していくと予想されており、これは京都府・全国と比較して10%前後高い。



[出典] 国勢調査2000～2020年(平成12年～令和2年)



[出典] 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」平成27(2015)年の国勢調査結果に基づく

## ➤ 与謝野町の特徴

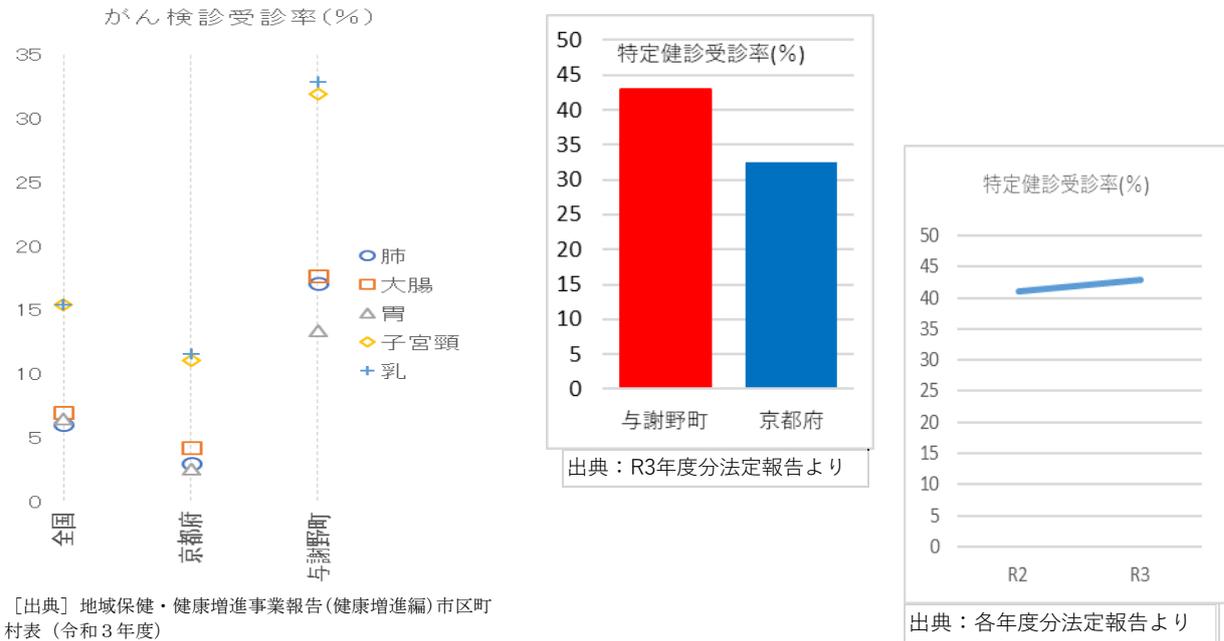
与謝野町は京都府北部に位置し、南は福知山市、東は宮津市、北は京丹後市、西は兵庫県豊岡市に隣接している。町の北東部を山陰近畿自動車道が通り、それにより自動車交通の便が向上し、京都市との間を約90分で行き来する事が可能となった。

公共交通について、鉄道では京都丹後鉄道の駅が町内にあり、豊岡市・福知山市・舞鶴市まで繋がっている。バスでは近隣の京丹後市・福知山市・宮津市・伊根町と繋がれ、丹後半島が可能である。町内には町営バスの運行はあるが、日常的な買い物等における町民の主な移動手段は自家用車となっている。

産業について、丹後ちりめんの生産地として発展してきたが、近年では町独自の有機質肥料の開発やホップの栽培等に取り組み、クラフトビールの醸造事業がおこなわれている。重要伝統的建造物群保存地区であるちりめん街道や、天橋立を横一文字に見渡せる阿蘇シーサイドパーク等において文化や食に関するイベントも行われており、今後の新たな商工業の発足と発展を期待できる。

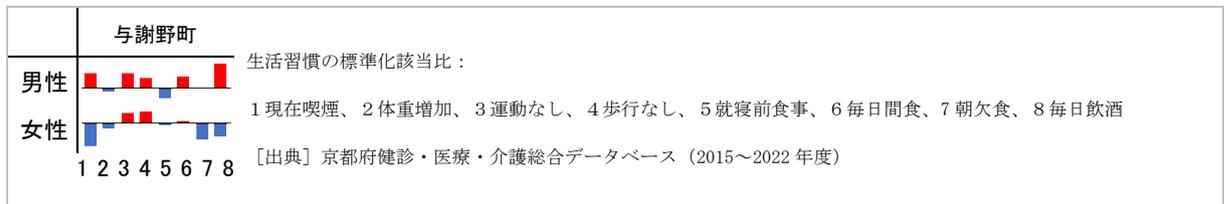
## 1.2 生活習慣

令和3年度のがん検診については、国、京都府に比べて受診率が高い。国保の特定健診受診率については42.9%で府平均より高く、前年度と比較して1.8%の上昇がみられた。



### ➤ 特定健診質問票項目

令和3年度特定健診質問票の標準化該当比では、男女ともに、運動なし・歩行なしが京都府より高い。男性は喫煙習慣・毎日飲酒・毎日間食においてリスクが高い。



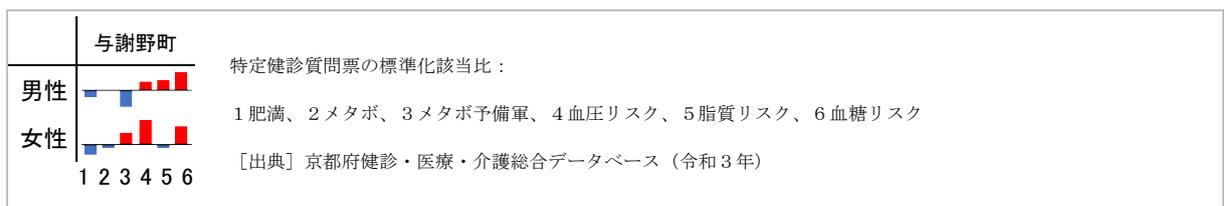
※スパークラインの各基線は当該年度の京都府全体を表しており基線を上回れば(=赤棒)期待値を上回る該当がある(=当該項目が府と比べて比較的高リスクである)ことを表す

※棒線の長さは性・市町村内での各項目間の相対的なリスクの大きさを表すため市町村間で棒線の長さの単純比較はできない

## 1.3 健診有所見

### ➤ リスク該当の割合

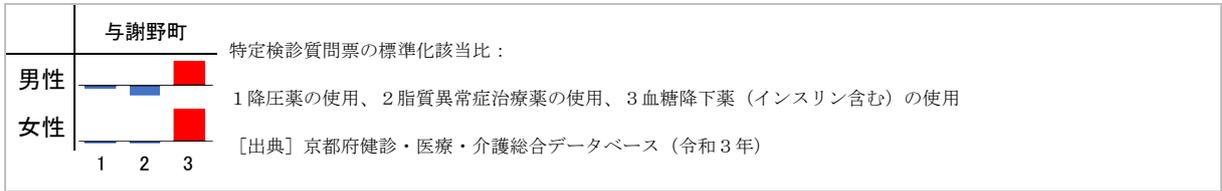
令和3年度特定健診質問票の標準化該当比では、男性では血糖リスク率が高く、次いで脂質リスク・血圧リスクが高い。女性では血圧リスク率が高く、次いで血糖リスク、メタボ予備軍率が高い。



## 1.4 生活習慣病（がん除く）

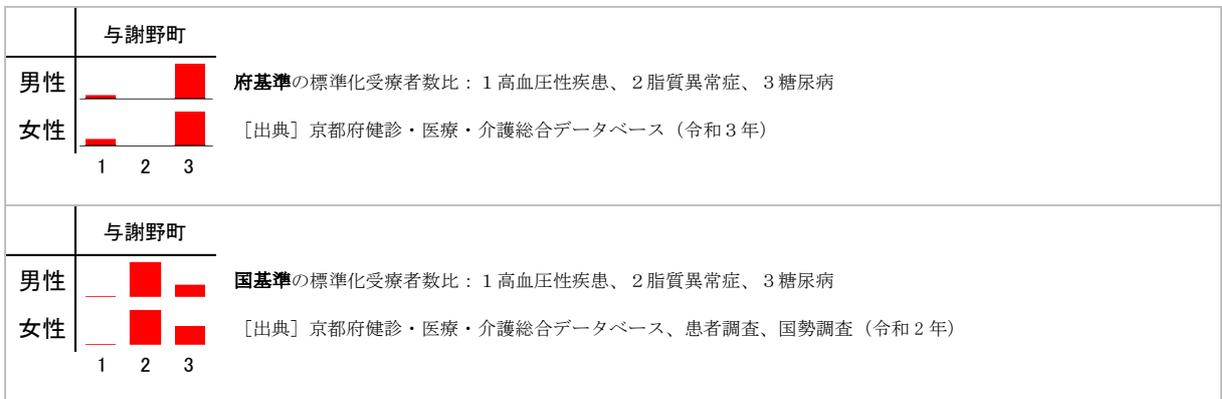
### ➤ 服薬の有無

令和3年度特定健診質問票の標準化該当比では、男女ともに血糖降下薬（インスリンを含む）使用率が府平均より高い。



### ➤ 受療状況

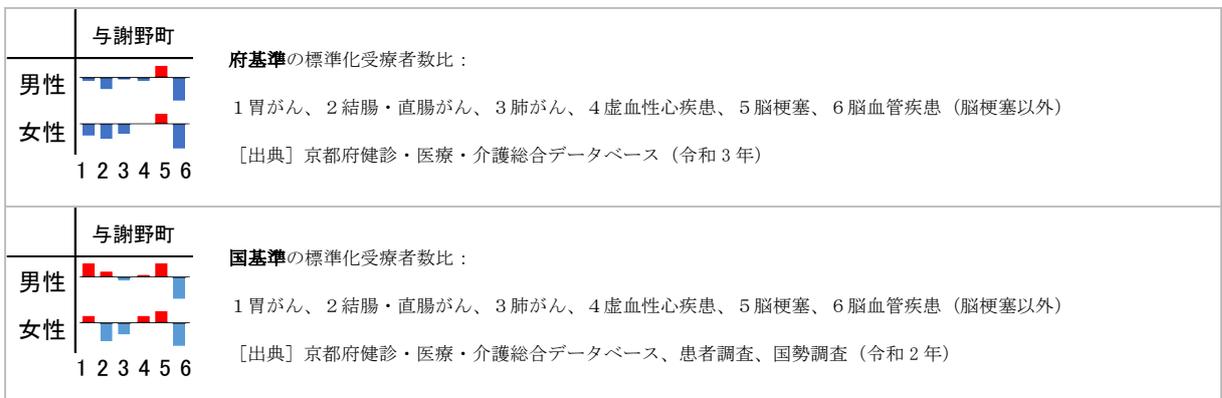
男性、女性とも府基準では糖尿病が多く、前項の服薬の有無とも一致している。国基準では脂質異常症が多い。



## 1.5 重症化・がん

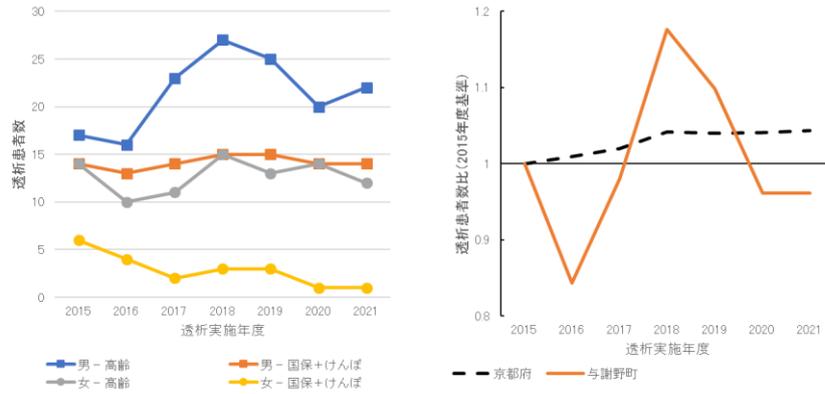
### ➤ 受療状況

府基準・国基準で共通して男女ともに脳梗塞が多いが脳梗塞以外の脳血管疾患は低い。国基準では、男女とも胃がんも受療者が多い。



➤ 透析実施状況

透析患者数は高齢男性に多く、増加している事が読み取れる。国保+けんぽの女性はやや減じているが他は横ばい。透析患者数比は一時的に患者が増加した2018年以降は減少しているが、町内患者数が50人前後と母数が少なく1人の増減で割合が大きく変わる為、安易に減少しているとは言い難い。



[出典] 京都府健診・医療・介護総合データベース (平成27年度～令和3年度)

1.6 介護・死亡

➤ 介護

調整済み認定率において、その差は僅かであるが全国より高く京都府より低い。

サービス利用受給率を見ると、全国及び京都府と比較して施設サービス利用が高く、居住系サービス利用が低い。

調整済み認定率

(%)	全国	京都府	与謝野町
要支援1	2.7	2.9	2.9
要支援2	2.6	3.6	3.9
経過的要介護	0.0	0.0	0.0
要介護1	4.0	4.0	3.6
要介護2	3.2	4.2	3.6
要介護3	2.5	3.1	2.7
要介護4	2.4	2.4	2.3
要介護5	1.6	1.6	1.5
合計	19.0	21.8	20.5

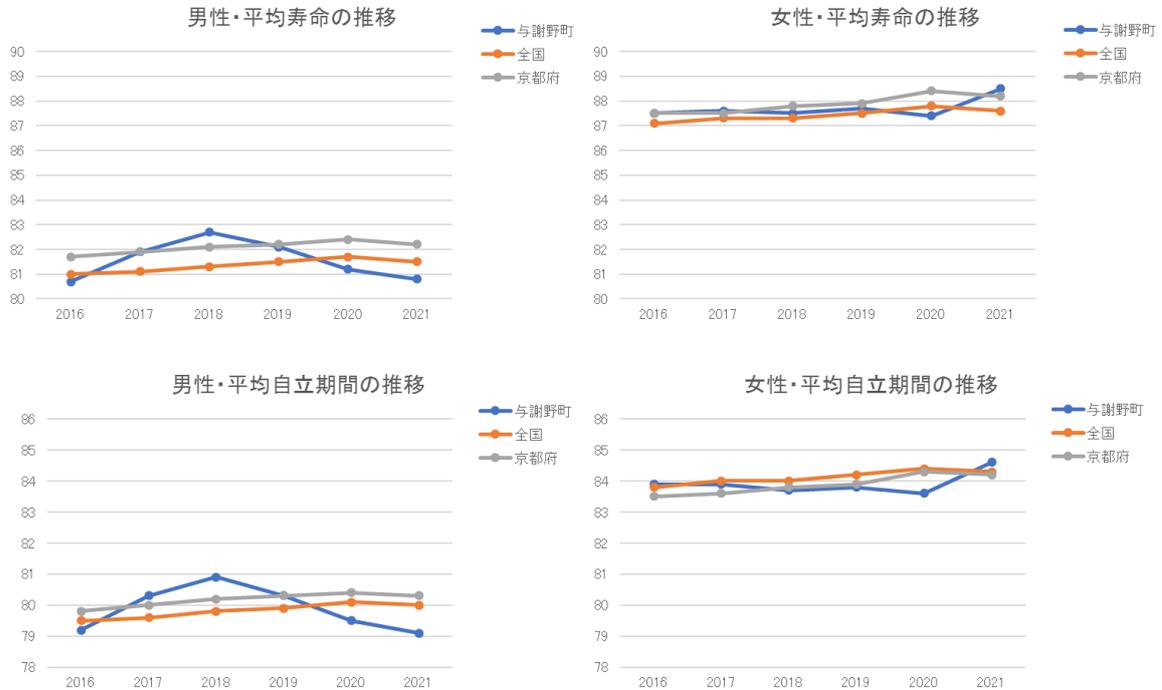
(時点) 令和4年(2022年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和3,4年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

受給者数(人) 受給率(%)	在宅サービス			施設サービス			居住系サービス		
	全国	京都府	与謝野町	全国	京都府	与謝野町	全国	京都府	与謝野町
要支援1	3,677,164 0.9	78,409 0.9	932 1.0	27 0.0	0 0.0	0 0.0	205,465 0.0	1,552 0.0	24 0.0
要支援2	5,674,173 1.3	153,404 1.7	1,722 1.9	26 0.0	0 0.0	0 0.0	183,168 0.0	1,598 0.0	12 0.0
要介護1	12,238,963 2.8	259,352 2.9	2,653 2.9	590,241 0.1	6,652 0.1	65 0.1	1,273,333 0.3	15,344 0.2	89 0.1
要介護2	10,261,665 2.4	299,002 3.4	2,968 3.2	1,000,198 0.2	19,615 0.2	189 0.2	1,255,697 0.3	22,937 0.3	185 0.2
要介護3	6,037,308 1.4	155,323 1.8	1,730 1.9	3,003,848 0.7	76,638 0.9	1,201 1.3	1,189,291 0.3	26,735 0.3	132 0.1
要介護4	4,235,513 1.0	82,015 0.9	760 0.8	4,442,375 1.0	99,963 1.1	1,464 1.6	1,017,608 0.2	19,523 0.2	167 0.2
要介護5	2,469,548 0.6	49,867 0.6	478 0.5	3,179,293 0.7	71,552 0.8	1,091 1.2	628,624 0.1	11,956 0.1	80 0.1
合計	44,594,334 10.4	1,077,372 12.2	11,243 12.1	12,216,008 2.8	274,420 3.1	4,010 4.3	5,753,186 1.3	99,645 1.1	689 0.7

➤ 平均寿命と平均自立期間

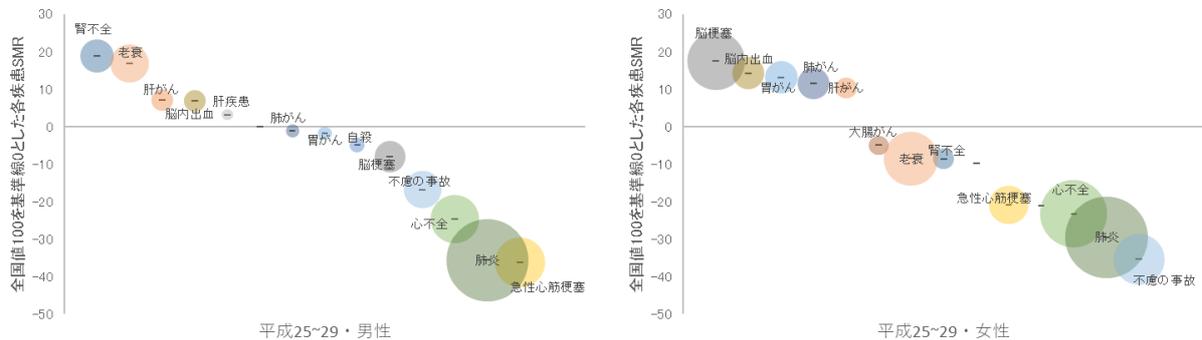
男女それぞれ平均寿命と平均自立期間は同様に推移している。男性は2018年以降下降しており、2020年より全国、京都府より低い。女性は男性と同様に2020年は全国、京都府より低かったが、2021年は上昇した。



[出典] きょうと健康長寿・未病改善センター算出、平成28年～30年：KDBシステム算出データ

➤ SMR (標準化死亡比)

平成25年～29年のSMRでは、男性の腎不全、老衰、肝がん、脳内出血、肝疾患が高く、女性は脳梗塞、脳内出血、胃がん、肺がん、肝がんが高い。とりわけ女性の脳疾患について、絶対死亡数差が大きい。



[出典] 人口動態統計特殊報告 (平成25年～29年 人口動態保健所・市区町村別統計)

## 2 地域の健康課題と対応策

### 2.1 生活習慣病発症の危険性が高い

運動・歩行習慣が定着していない。運動不足による生活習慣病に移行させないために、壮年期から生活習慣病予防に関する事業を実施する。

### 2.2 脳梗塞、糖尿病重症化の危険性が高い

女性の脳血管疾患や男性の腎不全による SMR が高い。透析状態に移行させないために、壮年期から高血圧・糖尿病の発症予防や重症化予防に関する事業を実施する。

## 3 実施している事業

### 3.1 壮年期からの生活習慣病予防事業

#### 3.1.1 特定健診・がん検診の同時実施 【継続】

目的：壮年期からの生活習慣病予防事業、重症化予防。がんの早期発見による健康寿命の延伸及び医療費の適正化

対象：【特定健診】30～74歳の与謝野町国保加入者、40歳以上の生活保護世帯の者  
40～74歳の被扶養者で特定健康診査受診券提出者

【各種がん検診】20歳以上の町民

【後期高齢者健診】75歳以上の者

内容：特定健診とがん検診を同時実施。費用は無料。18日間3会場、日曜も実施、月を変えて1日追加健診あり

結果：特定健診、がん検診ともに受診者は減少

評価：受診率低下。新型コロナウイルス感染症拡大のため、受診控えがあったと考えられるので、今後もがん検診との同時実施、費用無料、日曜日の健診・送迎・追加健診の実施など受診しやすい方法による実施が必要。

#### 3.1.2 からだすっきり運動教室 【継続】

目的：生活習慣病予防のため、正しい生活習慣についての知識の普及を行うことで、参加者自身が生活習慣をふりかえり、見直しや改善に取り組むよう支援する。運動習慣の定着化を図る。

対象：特定保健指導対象者、メタボリック症候群・その予備軍の者

内容：6回シリーズ。健康運動指導士による運動指導を4回、家庭でもできる運動紹介。管理栄養士、保健師による食事・病態についての講話。15人定員。

結果：実人数11人、延人数55人。

評価：自分でできる運動を取り入れたことで、運動の習慣化のきっかけとなった。運動に加え食事指導も実施し、生活改善のきっかけとなった。

#### 3.1.3 糖尿病重症化予防事業

目的：糖尿病が重症化するリスクの高い「未受診者」を医療に結びつける。

対象：京都府糖尿病性腎症重症化予防プログラムにより選定した未受診者対策17人、中断者対策3人

内容：個別通知、訪問による受診勧奨

結果：受診勧奨者 20 人、受診に繋がった者 8 人。

評価：受診行動に結びつく指導方法やスキルの向上が今後必要。中断者対策では、対象者へ最初のアプローチ方法を検討。

### 3.2 介護予防普及啓発事業（一次予防事業）

#### 3.2.1 75歳教室

目的：フレイル予防。運動機能、口腔機能の維持改善し、「元気な10年後を目指す」

対象：前年度に75歳を迎えた（後期高齢者医療受給者となった）町民（定員14名）

内容：健康運動指導士、栄養士、歯科衛生士による指導を3か月間に7回実施

結果：歩数を3ヵ月にわたり計測し継続できた。参加する前後で体力テストの数値が良くなった。継続率92.3%と、継続して教室に参加する者が多かった。

評価：参加者からは、気持ちが前向きになった、集団での活動の必要性を自覚した等の身体的・精神的な向上がみられた。最終回では包括支援センターの講話があり、教室終了後に日常生活支援総合事業を利用しやすくなっている。

### 3.3 介護予防・日常生活支援総合事業

目的：高齢者自身が地域における自立した日常生活がおくれるよう支援する。

対象：65歳以上サービス事業対象者及び要支援1・2

内容：介護予防マネジメント・介護予防の取組み（通所型）、生活家事支援（訪問型）

結果：75歳以上人口1千にあたり件数割合（与謝野町/全国）

① 介護予防マネジメント実施割合：44.8件/36.6件 全国より多い

② 通所型サービス

（緩和型）：37.6件/4.8件 全国より大幅に多く力を入れている

（従来型）：46.7件/27.2件 全国より多い

③ 訪問型サービス

（緩和型）：4.5件/4.6件 全国平均からやや少ない

（従来型）：0.0件/16.5件（把握していない）

評価：介護予防の取組みに力を入れ、住民の介護予防意識が高まっている一面が見られる。直営の地域包括支援センターがあることで申請から利用までが比較的早く、早期利用につながっている。

※厚生労働省「令和2年度介護予防・日常生活支援総合事業（地域支援事業）の実施状況に関する調査結果より

### 3.4 認知症対策

#### 3.4.1 認知症カフェ

目的：認知症の人とその家族が自分らしさを発揮し、社会とかかわりを持てる場所、情報交換や共感できる心安らげる居場所づくりとして開設（委託）

対象：認知症の方とその家族、65歳以上の高齢者

内容：介護相談、脳トレ、体操、茶話会など（コロナ禍で飲食は感染対策にて実施）

結果：10 事業所 12 箇所で実施

評価：令和 4 年度に 1 事業所が増え、利用者の健康づくりやしたい事を実現できるよう取り組みをし始めている。また従来事業所でも対面型での実施が広がっている。その事から閉じこもり予防・人とのつながる機会が増える事で、早期相談・早期対応や医療・介護支援等にもつながっている。

## 背景

## 生活習慣

## 健診有所見

## 生活習慣病

## 生活習慣病

## 介護・死亡

### 現状・健康課題

#### [人口]

総人口：21,040人  
高齢化率：36.8%

#### [地理]

与謝野町は京都府北部に位置している。日常的な買い物等における町民の主な移動手段は自家用車となっている。有線テレビから情報を得る方が多い（9割加入）。丹後ちりめんの生産地として発展してきたが、近年では独自の有機質肥料の開発やホップの栽培等に取り組み、クラフトビールの醸造事業がおこなわれている。文化や食に関するイベントも行われている。

#### [検診・健診]

特定健診実施率：42.9%  
がん検診受診率(肺 17.1%/大腸 17.7%/胃 13.4%/子宮頸 31.9%/乳 32.9%)

#### 食習慣

特定検診受診者の男性は、毎日間食、毎日飲酒の頻度が高い。

#### 運動習慣

特定検診受診者の男女とも運動習慣をもつ者の割合は低い。

#### 喫煙率

特定検診受診者で男性が現在喫煙している。

#### リスク該当割合

国保・けんぽの検診受診者で、男性は、血糖リスク、脂質リスク、血圧リスクが高い。助成は、血圧リスク、血糖リスク、メタボ予備軍率が高い。

#### 服薬割合

特定検診受診者の男女ともに血糖降下薬の服薬割合が府平均より高い。

#### 受療者数

男女とも府基準では、糖尿病が多い。国基準では脂質異常症が多い。

#### 心疾患受療者数比

全国と比べ、女性の虚血性心疾患が高い。

#### がん罹患率

府・国基準共通で男女とも脳梗塞が多い。脳梗塞以外の脳血管疾患は低い。

#### がん受療者数比

国基準では、男女とも胃がんの受療者が多い。

#### 透析

透析実施人数は男女とも若年者で減少、高齢者で増加。標準化新規透析導入者数比は緩徐に減少しつつある。透析導入原疾患では、糖尿病性腎症の占める割合が全国より継続して高い。

#### 標準化死亡比

男性は腎不全・老衰・肺がん・脳内出血、肝疾患で、女性は脳梗塞、脳内出血・胃がん・肺がん・肝がんが高い。

#### 寿命

男女それぞれ平均寿命と平均自立期間は同様に推移している。男性は2018年以降下降しており、2020年より全国、京都府より低い。女性は男性と同様に2020年は全国、京都府より低かったが、2021年は上昇した

#### 介護

調整済み認定率は、全国より高く、京都府より低い。施設サービス利用が高く、居住系サービス利用が低い。

### 施策および方向性

#### <方向性>

壮年期から生活習慣病予防、高血圧・糖尿病の発症予防や重症化予防に関する事業の実施

特定健診・がん検診事業の同時実施

生活習慣病予防事業(からだすっきり運動教室)

糖尿病重症化予防事業

介護予防事業

居場所づくり